

医療安全管理室

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	1人
病院教授	0人
准教授	1人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	3人

1-2 教員の異動状況

鈴木 明 (特任講師 平成23年4月～現職)

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名
	医療の質を改善する
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略
	製造業における改善の手法を医療に適用し、医療の質を向上させる
	(3)前年度までの状況
	小児の鎮静処置の実施状況を調査した
	(4)当該年度内の進捗
	小児の鎮静処置のプロセス改善を行った
	(5)翌年度の方針と予想
	緊急帝王切開術のプロセス改善に取り組む

3 論文、症例報告、著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	2編 (1編)
そのインパクトファクターの合計	1.090
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

論文数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1. Akinaga C, Uchizaki S, Kurita T, Taniguchi M, Makino H, Suzuki A, Uchida T, Suzuki K, Itoh H, Tani S, Sato S, Terui K: Randomized double-blind comparison of the effects of intramyometrial and intravenous oxytocin during elective cesarean section. J Obstet Gynaecol Res. 42: 404-409, 2016.	1.090
2. 木村哲朗, 加藤孝澄, 小笠原孝, 御室総一郎, 牧野洋, 鈴木明, 佐藤重仁: 経食道心エコープローブ挿入における McGRATH MACの有用性の検討. 麻酔 65: 68-74, 2016	0.000

論文数(B)小計 2 うち和文 1 IF小計 1.090

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

論文数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	1 件

1. 発明の名称	バイトブロック
特許第	5908624号
出願日	平成27年 2月17日
登録日	平成28年 4月 1日
特許権者	ショーダテクトロン株式会社 国立大学法人浜松医科大学
発明者	鈴木利定、鈴木宗裕(ショーダテクトロン株式会社) 鈴木明(浜松医科大学)

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	2 件	25 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8) 奨学寄附金	0 件	0 万円

(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1.	鈴木 明: 基盤研究(B) 医師のノンテクニカルスキル習得および向上のための基盤構築に関する研究(研究分担者)	10万円
2.	鈴木 明: 基盤研究(C) 医療機関による医療事故後の組織的な事故情報提供モデルの構築(研究分担者)	15万円

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2) シンポジウム発表数	0 件	2 件
3) 学会座長回数	0 件	0 件
4) 学会開催回数	0 件	0 件
5) 学会役員等回数	0 件	0 件
6) 一般演題発表数	0 件	

(2) 国内学会の開催・参加

2) シンポジウム発表

1.	鈴木明: 我が国における医療事故当事者に対するメンタルサポートの現状(パネルディスカッション). 第11回医療の質・安全学会学術集会, 2016.
2.	鈴木明: より安全な手術, 全身麻酔のためのバイトブロック-医工連携による医療機器開発-. 第21回静岡健康・長寿学術フォーラム学術セッション「生命科学研究を基盤としたモノづくり」, 2016.

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績